

2 次の文章は古典「枕草子」とその現代語訳です。文章を読んで、おとの問いに答えなさい。

K03

これまでのあらすじ

清少納言が仕えている中宮定子の父藤原道隆が亡くなった後、世間でいろいろ事件があり、清少納言も宮中を離れて家寮に帰っている。中宮はときどき「早く戻ってくるように」という内容の手紙を代筆してくださっていたが、宮中では、中宮に仕えている他の女房たちが清少納言のことを、敵の藤原道長と親しいのではないかと噂したりのけ者にしたりするので、腹が立ち、なかなか宮中に戻る気にならない。

『枕草子』

例ならず、おほせ言などもなくて日ごろになれば、心細くてうちながむるほどに、長女^{ちやうにょ}、文を持て来たり。「御前より、宰相の君して、忍びて賤はせたりつる」と言ひて、^①「こにてえぐ、ひき忍ぶるも、あまりなり。人つてのおほせ書きにはあらぬなめり、と、^②胸つふれて、とくあけたれば、紙には、ものも書かせたまはず、山吹

現代語訳

これまでと違つて、お褒りもなく何日もたつので、心細い思いでほんやりしているころ、長女^{ちやうにょ}が手紙を持ってやってきました。(長女)「中宮様から、宰相の君にお念じになつて、そつと下されたものです」と言つて、この私の家に来てまでも、気兼ねして声をひそめたようなそぶりなのも、あんまりだ。女房に命じて代筆させたお手紙ではないのだから、と、胸がどきどきして、悪いであけたところ、中の紙には何もお書きにならず、山吹の花びらただ一ひ

-6-

の花びらただ一重を包ませたまへり。それに、^③「言はで思ふぞ」と書かせたまへる、いみじう、日ごろの絶え間なく聞かれつる、皆なくさめてうれしきに、長女^{ちやうにょ}も、うちまもりて、「御前には、いかが、ものをりごとにおほしいできこえさせたまふなるものを、誰も、あやしき御長居とこそ、はべらぬれ。などはまゐらせたまはぬ」と言ひて、「こなる所に、あからさまにまかりたまへらむ」と言ひて去ぬる後、御返事書きてまゐらせむとするに、この歌の本、さらに忘れたり。

*1 長女は宮中で雑用を行う下級の女官

(清少納言「枕草子」一三ノ段による。)

らをお包みになつておられる。その花びらに「言わで思ふぞ」とお書きになつておられるのが、すばらしい御趣向で、こゝ何日もお褒りもなかつた悲しみもすっかりぬぐい去られたようで、うれしいが、長女^{ちやうにょ}もそつとした私の顔をつくつくで見守つて、(長女)「中宮様には、どんなにか、何かにつけて長女^{ちやうにょ}様のことを思い出していらっしやるそつとごいますが、女房がたまひな、どうして長く里にやがったままでいらっしやるのか、とおうわだしているようです。どうして参上なされないのですか」と言つて、(長女)「ちよつとこの近所によつてから、まだうかがいますから」と言つて立ち去つた後、その間にこの御返事を書いておこうとしたところ、「言わで思ふぞ」の歌の上の句がとんと頭に浮かんで来ない。

K03

-7-

問一 ― 線部①「二二にてさへ、ひき忍ぶらも、あまりなり」とありますが、どうして清少納言は「あまりなり」と思ったのでしょうか。次の中から適切なものを一つ選びなさい。

- 1 長女が自分の家のように思っていて行動しているから。
- 2 長女が中宮の手紙を持ってきたから。
- 3 長女が私の家にいるのに小さい声で話しているから。
- 4 長女が手紙の返事を怠らせるから。

問二 ― 線部②「胸つぶれて」とありますが、なぜ清少納言はこのような思いがしたのですか。次の中から適切なものを一つ選びなさい。

- 1 中宮が自分で書いてくださった手紙だろうと思ったから。
- 2 手紙に書かれていることが悪い内容だと思ったから。
- 3 だれからの手紙なのかわからず不安に思ったから。
- 4 他の人が書いたものなのでびっくりしたから。

問三 ― 線部③「言はで思がぞ」という言葉には、中宮のどのような気持ちが表現されていますか。次の中から適切なものを一つ選びなさい。

- 1 直接言葉では言わないが戻ってきてほしいと強く思っていることを伝えたいという気持ちと同時に、清少納言が他の女房と比べてとればと教養があるのかを、古歌の一部を使って試してみたいと思ういじわるな気持ち。
- 2 中宮自身は、思っていることは口に出して言ったほうがいいと思っているが、古歌の一部を引用することによって、また以前のように、教養ある女房である清少納言とこのような言葉遊びやかけあいをしてほしいという気持ち。
- 3 言葉で伝えたくてもなかなかうまく伝えられないが、戻ってきてほしいと強く思っていることを伝えたいという気持ちと、他の女房たちもみな、直接は言わないが同じ気持ちでいることをわかってもらいたいという気持ち。
- 4 直接言葉では言わないが戻ってきてほしいという強い思いを伝えたいという気持ちと、清少納言ほど教養のある女房はない、この一言だけで元になった古歌も理解し、自分の気持ちをわかってくれたらという信頼の気持ち。

問四 この後、清少納言は中宮の元に参加します。今回の手紙の何がきっかけとなって清少納言は中宮の元に参加したのでしょうか。文章に基づき、説明しなさい。

3 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

インターネットは、人々の日常的なコミュニケーションを補助し、可視化してくれる道具です。マスメディアと違い、報道の訓練や専門的な技能を取持した人だけに限らず、誰もが簡単に情報発信をすることができます。ウェブサイトやパスワードをかけたリ、会員制のウェブサイト内で発言したものでないのなら、原理的には誰にでも見られます。そうすると、ちょっとした嘘^{うそ}、真偽不明の情報、意図的なデマやいたずらの書き込みなど、多くの人が信じ、あつという間に広まるということも起こります。

事実、インターネットが普及してから、これまで数多くの流言やデマがウェブ上に広がってきました。たしかに、流言やデマは、ネットが普及する以前のどの社会にも存在する、普通の現象です。しかし、①インターネットは、流言やデマの拡散を様々な形で強化してしまいます。短時間でより多くの人たちの目に留まるようになり、その記録をいつまでも残してしまうためです。そうしたインターネットと付き合いには、②「隣の誰かに隠されない」ための気構えや能力が必要となります。

流言やデマは、昔からある普通の現象ですが、③経済的要因によって、広がりやすくなったり広がりにくくなったりします。インターネットが登場し、誰もがメールを日常的に使うようになると、根拠のない流言が連鎖的にメールで伝わっていく「チェーンメール」が問題視されるようになりました。チェーンメールと同じような現象は、ブログや掲示板、SNS^{※1} などでも頻繁に見受けられます。これらのウェブサイトはすべて、ユーザーたちの書き込みによってコミュニケーションを成立させるサービスです。その利便性のおかげで、流言やデマもまた、ボタン一つ、クリック一回の簡単な操作で広がってしまいます。

このように簡単な操作で済むウェブ上では、オフライン^{※2}での流言と比べて、拡散する者のコストをたれほど必要としません。また、時間と場所を越えて、見知らずの人の書き込みでも閲覧することのできるネットですから、流言やデマの拡散範囲や速度もまた、オフラインでの流言に比べて、より速く、より広く拡散する可能性があります。

*1 SNS ソーシャルネットワークワーキングサービスの略。ネットワーク上に人々とのつながりを構築するサービス。

*2 オフラインネットワークにつながっていない状態。

(荻上チキ、飯田泰之、鈴木謙介「デマ情報の見分け方 メディアと善悪につきあうために」による。)

K04

- 11 -

K04

- 12 -

問一 ― 線部①「インターネットは、流言やデマの拡散を様々な形で強化」しているとありますが、それはインターネットのどのような性質によってもたらされますか。適切なものを次の中から二つ選びなさい。

- 1 日常的なコミュニケーションを補助すること。
- 2 コミュニケーションを可視化すること。
- 3 簡単に情報発信ができるようにすること。
- 4 短時間で多くの人目に留まるようにすること。
- 5 記録をいつまでも残してしまうこと。

問二 著者は、― 線部②「隣の誰かに騙されない」ための気構えや能力が必要だと主張していますが、それはなぜですか。著者の主張の根拠として最も適切なものを次の中から一つ選びなさい。

- 1 インターネット上には、今までのメディアと違って流言やデマが存在するため、情報の判別が大切になるから。
- 2 騙されないための能力がないと、騙されたことに気が付かないで、自分が嘘の情報をさらに広めてしまう可能性があるから。
- 3 インターネットを使えば、誰もが簡単に情報を発信できるので、隣の人が嘘をつきやすくなるから。
- 4 インターネット上での流言はオフラインの流言と比べて速度が速くて、自分でじっくりと真偽を判断する時間がないから。

問三 ― 線部③「環境的要因によって、広がりやすくなったり広がりにくくなったり」とありますが、広がりにくくなるのはどのような場合だと著者は述べていますか。次の中から最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 会員限定サービスのようにユーザーが限られている場合。
- 2 メールをあまり使わず、ブログやSNSを積極的に使う場合。
- 3 報道の訓練を受けた人が情報を発信する場合。
- 4 情報を広める人の負担が少なくなる場合。

問四 本文を読んで、**Aさん**と**Bさん**が話をしています。

Aさん 「同じ情報が多くあるだけで、みんながそれを信じてしまうというのは、危険なことだと思わな。」

Bさん 「でも、どのウェブサイトにも同じようなことが書かれていたら、それをだんだん信じちやうどじゃない？ 多くの人に何度もその商品が便利だと言われ続けると、そんな気になってしまふよ。」

あなたが**Aさん**の立場に立って、**Bさん**にインターネット上で疑^{うたが}われないように注意する場合、どんなことを伝えるとよいですか。本文を参考にして、あなたの意見を書きなさい。